

公立陶生病院に通院されている患者さんへ
研究に対するご理解・ご協力をお願い

「特発性肺線維症(IPF)患者の臨床指標と COPD アセスメントテスト(CAT)点数の1年の変化量に関する検討」についての情報開示

特発性肺線維症(IPF)は慢性進行性で原因不明の疾患であり、患者さんの健康関連 QOL は障害されています。健康状態についての質問票を日常診療に組み込むことは、患者さんの健康状態を知るだけでなく、患者さんのニーズを評価し、治療への反応性や疾患進行をモニター、医師と患者さんのコミュニケーションの改善、などの様々な用途で役立つと考えられます。

COPD アセスメントテスト(CAT)は、もともと慢性閉塞性肺疾患(COPD)を対象として開発された簡便な質問票ですが、IPF に罹患した患者さんの健康状態を把握するツールとしても妥当性があることが報告されています。しかしながら、これまでの研究では IPF に罹患した患者さんの健康状態の変化を CAT がキャッチできるのか、臨床的に意義のある変化を検出できるのか、については検討されていません。

本研究は、IPF に罹患した患者さんの臨床指標の変化と CAT 点数の変化量の関係について明らかにすることを目的として計画されました。

2011年7月から2015年12月までの期間、当院に通院されている IPF 患者さんのうち、1年の間隔をあけて CAT を回答していただいた方を対象とし、既存の診療録の診療情報を収集して調査を行います。この研究では、集計・解析に際して匿名化して情報を取り扱い、対象患者の個人情報情報を厳重に保護しています。

上記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科医師 松田俊明(電話 0561-82-5101)までご連絡いただければ幸いです。

研究責任者	公立陶生病院	呼吸器・アレルギー疾患内科	近藤	康博
研究実施者	公立陶生病院	呼吸器・アレルギー疾患内科	松田	俊明
研究協力者	公立陶生病院	呼吸器・アレルギー疾患内科	木村	智樹
研究協力者	公立陶生病院	呼吸器・アレルギー疾患内科	片岡	健介
研究協力者	公立陶生病院	呼吸器・アレルギー疾患内科	横山	俊樹